

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ

大賞

“我が家の
育児男子”部門

いなべ市 小寺 俊行さん

推薦者 小寺 淳子さん(妻)
育児対象 子ども(18歳、23歳)、孫(0歳)



私たち夫婦は共働きで、結婚当初、そして娘たちが生まれてからも、家事・育児にとっても協力的なお父さんのおかげで、私は今まで仕事を続けることができています。

“うちのお父さんこと元祖育児男子!”をみなさんに紹介したくて、昨年度に続き、応募させていただきました。

今年結婚25年を迎え、普段なかなか口では言えない感謝の気持ちを伝えたいと思います。「お父さん、いつもありがとう。これからもどうぞよろしくお願ひします。」

小学校の授業での「家のことを主にする人は誰ですか?」という先生の質問に、迷うことなく「お父さん」と答えた長女(私たちの姿を見て育ちました)が、昨年、お父さんと同じくらい優しくて協力的な人と結婚し、今年7月に女の子を出産しました。ただ今里帰り中で、お父さんは育ジイの仲間入りをしました。新米育ジイは、沐浴、爪切り、耳掃除、ベビー

カーでお散歩、抱っこと悪戦苦闘しながらも、とても楽しそうです。

次女も来月19歳になり、我が子の育児はそろそろ卒業ですが、これからは育ジイとして頑張ってくれること間違いなし。育ジイぶりが目に浮かびます。

👍 審査員共感!ポイント

- イクメンという言葉が主流になる前から、「家のことを主にするのはお父さん」と子どもが自然に言えるぐらいの家庭への関わり方がすごい!
- 女性が仕事をずっと続けることが難しい時代でも、理解してくれていた点がステキ。
- お孫さんが生まれて、今度は“育ジイ”を楽しんでいる姿が、女性から見て嬉しい。応援しています!

大賞以外にも、**十パパ十色**のステキな子育て方法や家族の関わり方がありました。中でも審査員の方々が「県民の皆さんにぜひ紹介したい!」と選んだ2つの事例をご紹介します!

“ママちゃん・パパちゃんデー”で 日々のストレスも解消!

我が家では、“火曜日はママちゃんデー”、“金曜日はパパちゃんデー”と決まっています、その日の夕飯後は、子どもを相手に頼んで出かけて良いルールになっています。

これを提案してくれたのがパパ!私が出かけるときは、コンビニに行ったり、車内で誰にも邪魔されず携帯をいじったり…。ほんの数時間ですがリラックスになります。その分、金曜日はパパに思う存分満喫してもらっています。

今度のママちゃんデーは何しようかな?

家事育児100タスクも一人でこなす! 二児のパパ奮闘中

朝と夕方、そして不規則の家事育児をまとめた“家事育児100タスク表”というものがありますが、そのすべてを行っています。その中でも特にここがけていることは、20年、30年後に二人の息子がどのような人生を送っているかを最優先に考えて、「子どもの習い事や塾、進路の情報を集める/送迎をする」こと、そして“食と健康アドバイザー”の資格を生かして、子どもの発育を考えた、食事を用意することです。

妻が自分の命と引き換えにこの世に残してくれた命を、大切にしていきたいと思っています。